



カリブ海と太平洋を結ぶ長さ約64kmの運河。中央アメリカ・パナマの首都パナマにある。大西洋と太平洋の水位が異なるために3段の閘門式となっている。新運河条約(1977)に基づいて、ながく運河地帯を租借していたアメリカ合衆国がパナマに全面返還した。

二大運河を通過したのは「よこすか」だけ



有人潜水調査船「しんかい16500」を積んでパナマ運河に行くのは、支援母船「よこすか」。1994年、大西洋中央海嶺ケーン断裂帯・東太平洋海膨などの調査と米国ウッズホール海洋研究所を表敬訪問した「*MODE94」の時のスナップです。研究者などは空路で最寄りの港に集まったのちに乗り込んだため、運河航行を体験したのは「よこすか」乗組員だけでした。

海洋科学技術センターにある船舶の中で、パナマとスエズの二大運河を航行したのはこの「よこすか」のみ。1998年、ポルトガル・リスボンで開催された世界海洋博覧会に「しんかい16500」と「よこすか」が展示された際、帰路でスエズ運河を通過しています。

*MODE=Mid Oceanridge Diving Expedition. 1994年、1998年に実施している。

取材協力者

井田正比古課長(研究業務部海務課)